

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	宮崎県立看護大学
設置者名	公立大学法人宮崎県立看護大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信		1	76	77	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

看護大学ホームページ (<https://www.mpu.ac.jp/major/nursing/#curriculum>) に掲載し、公表している。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宮崎県立看護大学
設置者名	公立大学法人宮崎県立看護大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ（ホーム＞大学案内＞法人情報＞基本情報＞法人の基本情報＞役員・審議会委員の名簿）に法人役員名簿を掲載している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	宮崎県商工会議所連合 会会頭	2021.4～ 2025.3	法人運営に関する こと
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮崎県立看護大学
設置者名	公立大学法人宮崎県立看護大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスは、毎年11月頃、教務委員会で「シラバスの作成の手引き」を定め、11月から3月中旬にかけて作成し、3月下旬を目処に公表している。 シラバス作成の手引きには、シラバスの項目毎に記載すべき内容等をまとめており、学生の視点を重視した具体性のあるシラバス作成に取り組んでいる。 また、以下のホームページで学内・学外の誰でも閲覧できるようにしており、新生生については、1年次[※]に開講される科目のシラバスを印刷し、教務ガイダンスの際に配付[※]している。	
授業計画書の公表方法	看護大学ホームページ (https://www.mpu.ac.jp/major/nursing/#curriculum) に掲載
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位認定にあたっては、シラバスに記載(または授業時に配布)されている到達目標、評価方法をもとに適切に行っている。 評価方法については、取組み姿勢、試験、レポート、課題、成果物、プレゼンテーション(発表)、実技などから総合的に判断し、到達目標に達した場合、所定の単位を与えることとしている。 なお、学生が授業の3分の1以上を欠席した場合、試験を受けられないことと履修規程で定められており、全学的に遵守されている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) S (90 点以上)、A (80 点以上 90 点未満)、B (70 点以上 80 点未満)、C (60 点以上 70 点未満)、D (60 点未満) と評価し、D は不合格としている。 また、GPA も導入している。GPA は、全科目を対象とし、GP に単位数を乗じたものの総和を評価を受けた科目の単位数の総和で除し、算出している。 通算 GPA、前期・後期 GPA の四分位数 (25%、50%、75%) を表にして学生及び保護者に公表するとともに、分布図を作成し、教務委員会で共有し、下位 4 分の 1 相当の学生には、適切な学習指導を行うこととしている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	看護大学ホームページ（ホーム＞教育情報の公表＞学修の評価、卒業認定基準など）に掲載
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教育目標に対応させて、看護職をめざす卒業生として卒業時に身につけていることを望む姿としてディプロマポリシーを公表している。 卒業の認定にあたっては、教務委員会で協議後、教授会の議を経て学長が認定を行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	看護大学ホームページ (https://www.mpu.ac.jp/major/nursing/#policy) に掲載

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	宮崎県立看護大学
設置者名	公立大学法人宮崎県立看護大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	看護大学ホームページ https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/corporation/
収支計算書又は損益計算書	看護大学ホームページ https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/corporation/
財産目録	看護大学ホームページ https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/corporation/
事業報告書	看護大学ホームページ https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/corporation/
監事による監査報告(書)	看護大学ホームページ https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/corporation/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 令和5年度計画)	対象年度: 令和5年度)
公表方法: 看護大学ホームページ(ホーム) > 大学案内 > 中期目標・中期計画関連情報	
中長期計画(名称: 第2期中期計画)	対象年度: 令和5～10年度)
公表方法: 看護大学ホームページ(ホーム) > 大学案内 > 法人情報 > 中期目標・中期計画関連情報	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 看護大学ホームページ(ホーム) > 大学案内 > 自己点検・評価に掲載

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 看護大学ホームページ(ホーム) > 大学案内 > 法人情報 > 認証評価
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部看護学科
教育研究上の目的（公表方法：看護大学ホームページ (https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/educationalinfo/#mid-rangetarget) に掲載) (概要) 生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を育成し、かつ深く高度な専門知識・技術を修得させることにより、看護の果たすべき役割を追究し、社会の幅広い分野において、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成するとともに、看護学及び関連する学問領域の発展に寄与する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：看護大学ホームページ (https://www.mpu.ac.jp/major/nursing/#policy) に掲載) (概要) 教育理念のもと、教育目標に対応させた以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得したものに、学士（看護学）の学位を授与する。 1. 人間に対する理解と倫理観を持ち、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる感性を身につけ、自己の持てる力を差し出せる。 2. 多様な個性やさまざまな考え方を尊重し、他者との人間関係を築くことができる。 3. 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけている。 4. さまざまな健康状態の人々と関わることでできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。 5. 看護専門職者としての誇りと責任感を持ち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と協働できる力を身につけている。 6. 生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を持ち、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：看護大学ホームページ (https://www.mpu.ac.jp/major/nursing/#policy) に掲載) (概要) すべての人々への健康の学習と実践を願ったナイチンゲール看護論を基盤に、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを支援できる看護専門職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育て、体験を通して看護学の概念と実践的能力を段階的、統合的に身につけることができるカリキュラムを編成しています。 また、学生の主体的な学修を推進する教育方法を取り入れ、学生のニーズをふまえて到達度が高まる環境を整えます。 さらに、各授業科目の評価規準、基準をシラバスで明示し、厳格で客観的な成績評価を行います。 1. 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を取り巻く自然、社会、文化的環境について学修する普遍分野を配置する。 2. 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つめ、これらの仕組みについて理解を深める専門基礎分野を配置する。 3. 看護の基盤となる考え方と方法を学び、看護の対象を、地域社会の中のある家族の一

員として個別的なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を人々の健康を守るネットワークの中に位置づけて理解する。また、学修の節目ごとの実習を通して多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていく専門分野を配置する。 4. 普遍分野、専門基礎分野、専門分野の学修を統合させながら、看護の実践能力を高め、生涯にわたり看護学を追究・発展できるように〔看護統合〕を配置する。 また、国際的視野を身につけるため、異文化理解へ向けた教育を行う。 5. 物事の本質を追究する姿勢を育み、課題解決に取り組む意味や面白さを経験し、将来にわたる研究的態度が身につけられるように、科目間、分野間で連携した教育を行う。 6. 到達目標に照らして自己評価しながら学修する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業を行う。また、専門科目では〈自己学習-グループ学習-個別指導-自己評価〉システムを取り入れ、主体的な学修を推進する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：看護大学ホームページ (https://www.mpu.ac.jp/major/nursing/#policy) に掲載)
(概要) 教育理念・目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めています。 1. 人々の健康と生活に関心を持ち、自らも生活を整える力を身につけようとしている人 2. 積極的に他者と関わり、相手の言葉に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを表現できる人 3. 多様な個性やさまざまな考え方を尊重し、まわりに感謝し、みんなで伸びていこうとする人 4. 社会の動向への関心や未知への好奇心を持ち、新しいことを受け入れて変化できる人 5. 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に学び、考える姿勢をもつ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：看護大学ホームページ (https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/information/) に掲載
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	—	—					人
看護学部	—	16人	10人	12人	10人	9人	57人
※R6.6.1～	—	16人	10人	12人	10人	8人	56人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		人					1人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：看護大学ホームページ https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/corporation/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	100人	102人	102%	400人	408人	102%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	98人 (100%)	17人 (17.3%)	79人 (80.6%)	2人 (2.0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項）				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業の方法及び内容並びに授業の計画はシラバスに記載している。 シラバスは、毎年 11 月頃、教務委員会で「シラバスの作成の手引き」を定め、11 月から 3 月中旬にかけて作成し、3 月下旬を目処に公表している。 シラバス作成の手引きには、シラバスの項目毎に記載すべき内容等をまとめており、学生の視点を重視した具体性のあるシラバス作成に取り組んでいる。 また、以下のホームページで学内・学外の誰でも閲覧できるようにしており、新入生については、1 年時に開講される科目のシラバスを印刷し、教務ガイダンスの際に配布している。 <シラバス> https://www.mpu.ac.jp/major/nursing/-curriculum <授業に関すること> https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/educationalinfo/#studyinfo

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 評価については、取り組み姿勢、試験、レポート、課題、成果物、プレゼンテーション（発表）、実技などから総合的に判断し、到達目標に達した場合、所定の単位を与えることとしている。 S(90 点以上)A(80 点以上 90 点未満)B(70 点以上 80 点未満) C(60 点以上 70 点未満)D(60 点未満)と評価し、D は不合格としている。 卒業の認定にあたっては、ディプロマポリシーを公表しており、教務委員会で協議後、教授会の議を得て学長が認定を行っている。 <学修の評価、卒業認定基準など> ホーム > 教育情報の公表 > 学修の評価、卒業認定基準など <ディプロマポリシー> https://www.mpu.ac.jp/major/nursing/#policy
--

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	1 2 7 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ <https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/information/#map>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
看護学部	看護学科	535,800 円	232,000 円	円	県内入学者
	看護学科	535,800 円	332,000 円	円	県外入学者
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・各学年 5 名の学年顧問を中心として、学習相談や助言等を行っている。教員は、学生からの要請があれば随時対応する姿勢で、研究室をオープンにしている。 ・学生の自主的な学習を促進するため、目的に応じて臨床看護実習室、情報処理室、LL(Language Laboratory)教室、図書館講義室、共同研究室、多目的ホール等を使うことができるよう学修環境を整備している。 ・国家試験対策について、就職対策委員会、卒業研究指導教員及び 4 年次学年顧問等が連携した学生支援体制を整備している。 ・模擬試験の設問内容ごとの正答率対比表を学内で共有し、本学学生の苦手とする教科等を踏まえた指導や模擬試験の結果を学内で共有し、成績低迷者に対して、学習状況の確認と助言を行っている。 ・小論文の添削や模擬面接などの支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 本学では、学生が卒業後に自分の希望、能力および特性を十分に活かせる職業に就くことができるように、キャリア支援事業として就職情報の提供や進路相談などを行っています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・学生の学修や健康管理、生活に関する相談や指導体制の充実・強化を図るため、精神的な悩みに対応するための外部カウンセラーを導入している。 ・保健室を設置し、看護師(非常勤)1 名を配置し急な発病や事故などに対処するために救急処置に必要な薬品などを常備し、病気になった時や怪我などの応急処置、相談、健康指導等を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：看護大学ホームページ (https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/information/) に掲載

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F145210111549
学校名（〇〇大学 等）	宮崎県立看護大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	公立大学法人宮崎県立看護大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		64人	67人	人
内 訳	第Ⅰ区分	36人	34人	
	第Ⅱ区分	－	20人	
	第Ⅲ区分	－	13人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	1人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下）	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	1人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	14人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	14人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。